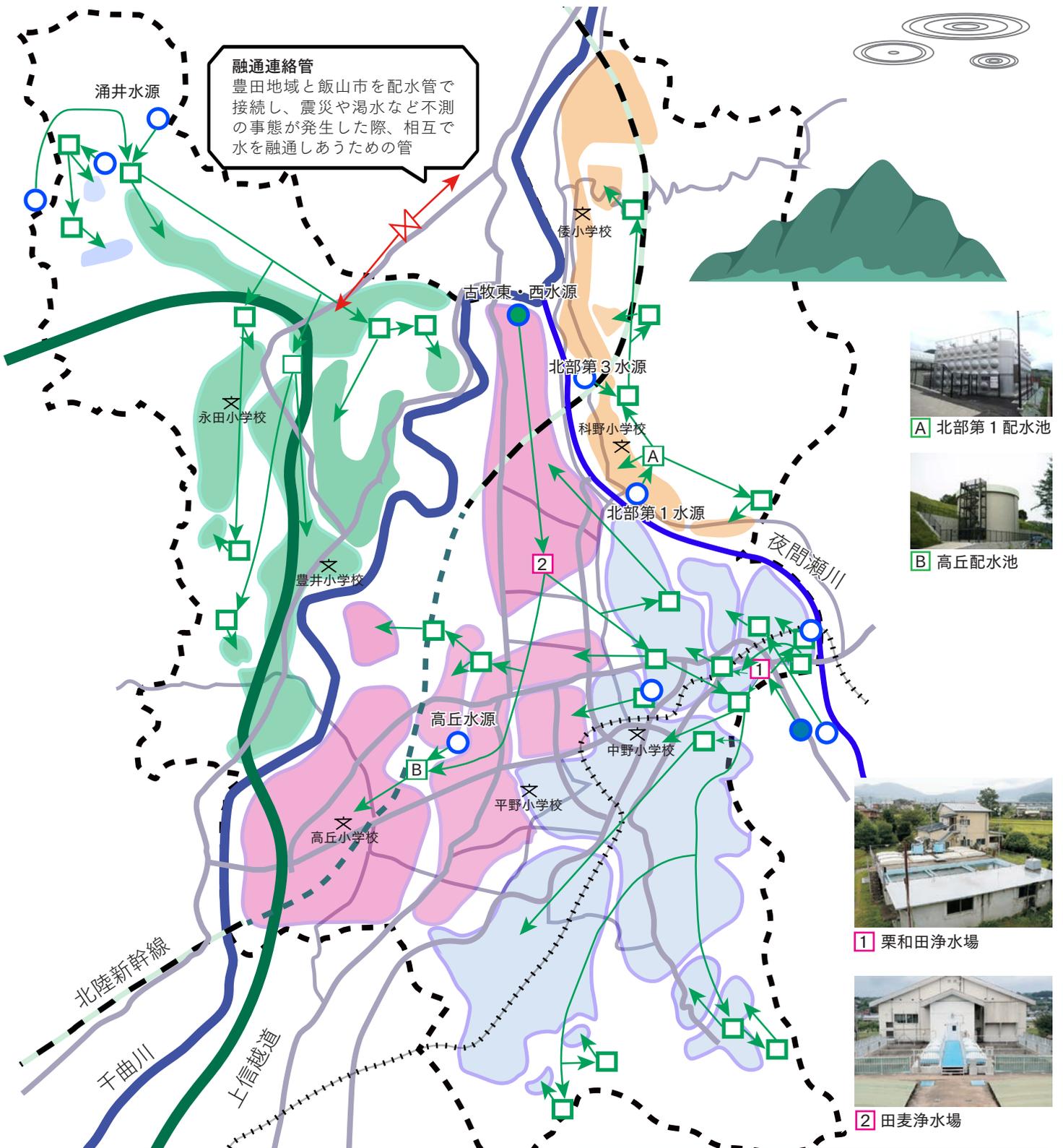


中野市 水道概要MAP



融通連絡管
 豊田地域と飯山市を配水管で接続し、震災や渇水など不測の事態が発生した際、相互で水を融通しあうための管



A 北部第1配水池



B 高丘配水池



1 栗和田浄水場



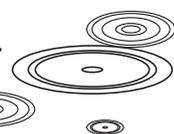
2 田麦浄水場

○ 井戸水	地下水からくみ上げた水	□ 浄水場	原水をきれいにする施設	栗和田浄水場エリア
● 表流水	川の水	□ 配水池	浄水を配水する前に蓄えておく施設	田麦浄水場エリア
● 伏流水	川から浸透した水	→ 水道管路	水源から各施設へ水を送る「導水管」、配水池へ送る「送水管」、配水池から家庭へ配る「配水管」がある	北部エリア
				豊田エリア

中野市の

おいしい

水



「おいしい水」とはどのようなものでしょうか。味、温度、硬度、個人の好みもあるかもしれません。1985年に厚生省(当時)が設立した「おいしい水研究会」が示した「おいしい水の要件」は、カルシウム、マグネシウム、ナトリウム、炭酸ガスなどを適度を含み、有機物や臭気が少ないことなどがあげられています(数字は下表のとおり)。中野市でもこの要件を全て満たしている浄水があります。

「おいしい水」が今後もおいしく、安全に飲める水であるためには、私たち一人ひとりが気をつけ、水を汚さないことが大切です。家庭でも、調理くずをそのまま流さないことや適切な量の洗剤を使うことなどで生活排水による水質汚染を防ぐことができます。節水にもつながりますので、皆さんも心掛けてみてください。

おいしい水の要件

要件を満たしています

水質項目	内容	要件値	北部第1水源	北部第3水源
蒸発残留物	量が多いと苦み・渋みなどが増し、適度に含まれるとコクのあるまろやかな味となる。	30～200mg/L	178mg/L	152mg/L
硬度	カルシウム・マグネシウムの含有量を示し、硬度の低い水はクセがなく、高いと好き嫌いが出る。	10～100mg/L	76mg/L	52mg/L
遊離炭酸	水に爽やかな味を与えるが、多いと刺激が強くなる。	3～30mg/L	11.5mg/L	4.4mg/L
過マンガン酸カリウム消費量	不純物や過去の汚染の指標であり、量が多いと水の味を損なう。	3mg/L以下	0.4mg/L	1.0mg/L
臭気度	水源の状況によりいろいろな臭いがつくと不快な味がする。	3以下	1未満	1未満
残留塩素	水にカルキ臭を与え、濃度が高いと水の味を悪くする。	0.4mg/L以下	0.4mg/L	0.3mg/L
水温	水温が高くなるとおいしくないと感じる。冷やすことでおいしく感じる。	最高20℃以下	16.1℃	15.5℃

※厚生省(現厚生労働省)おいしい水研究会による「おいしい水の要件」(1985年)より。

※北部第1水源、北部第3水源については、検査日2019年5月17日、浄水の水質検査結果。

市では長年にわたり安定した水道水を供給するため、市内の水道施設の耐震診断調査を行うなどしながら、耐震補強工事を順次実施しています。2015年度には親川配水池耐震補強工事や北部第一配水池更新工事、19年度には赤坂配水池耐震補強工事を行っています。また、施設の耐震化とともに水道管路の耐震化を図るため布設替え工事にも取り組んでいます。

今後ともこれまでと同様に水道施設や管路の耐震化を進め、より災害に強い水道システム作りを行ってまいります。

水道施設の耐震化工事を進めています



▲市道西町15号線の水道管路布設替え工事。



▲赤坂配水池の耐震補強工事。